

DRV-R530

ナビ連動型ドライブレコーダー（リア用）

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



もしものときは！！

必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように本機の電源をオフにしてSDカードを取り出してください。
(→ P.20)

本機に付属の microSDHC カードを本機に挿入する前に 11 ページの「本機で使用する SD カードについて」をお読みください。

My-Kenwood（ユーザー登録）のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

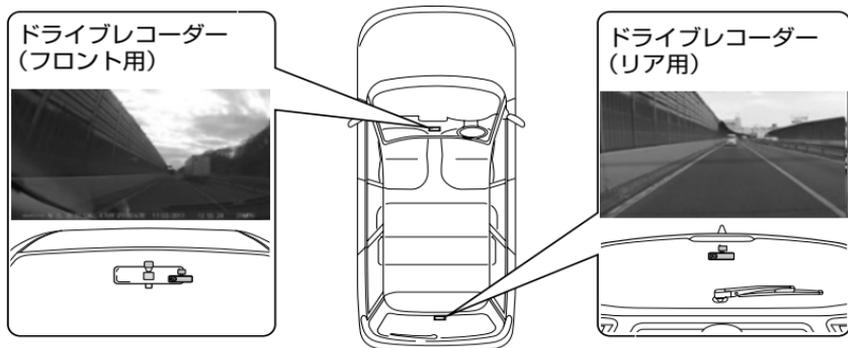
ナビ連動型ドライブレコーダー (リア用) について.....3	SD カードを取り出す / 入れる ..20
本機の設定について3	録画する21
録画 / 記録したファイルの再生に ついて.....3	画質の種類.....21
ドライブレコーダー機能ガイド4	録画時間 / 録画ファイル数の目安...21
録画機能について4	録画ファイルの上書き保存について ..22
録画時のマイクの音声を設定する ..5	電源オン時の録画と記録22
安全上のご注意6	常時録画 (連続録画) モード.....22
使用上のご注意.....10	イベント (衝撃) 記録モード.....22
本機で使用する SD カードについて ..11	手動録画モード.....23
付属品.....12	静止画記録.....23
取り付けかた13	自動静止画撮影.....24
取り付け位置.....13	電源オフ時の駐車録画モード.....25
取り付け手順.....14	駐車録画モード.....25
接続のしかた.....15	フォルダ / ファイル構成26
各部の名称とはたらき17	故障かなと思ったら.....27
報知音 / LED 表示による通知.....18	主な仕様.....29
電源をオン / オフする19	ソフトウェアについて.....30
電源をオンにする19	保証とアフターサービス32
電源をオフにする19	
本機の電源のみオフにする.....19	
本機のバックアップ電源について 19	

- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアアップデート情報などを当社ホームページで提供しています。下記ウェブサイトでご確認ください。
<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/>

ナビ連動型ドライブレコーダー（リア用）について

本機は対応カーナビ、ドライブレコーダー（フロント用）と連動して動作するリア用のドライブレコーダーです。

本機はナビ連動型ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530（別売品）を接続していないと使用できません。



- 対応カーナビについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- DRV-N520（別売品）をお持ちの場合は、DRV-N520をアップデートすることで対応可能となります。（アップデートについてはDRV-N520に付属の取扱説明書をご覧ください。）、別売りのAV入力/出力用ケーブルKNA-17AVを使って接続してください。接続については対応カーナビの取付説明書をご覧ください。
- ドライブレコーダー（フロント用）が、何らかの原因により録画ができない状態のときは、本機の駐車録画以外の録画機能も動作しません。

本機の設定について

本機の設定は接続しているカーナビのモニター画面で行います。

操作方法はカーナビの取扱説明書をご覧ください。

■ 初めに設定する

本機を使用するにはカーナビのリアドライブレコーダー接続を「ON」に設定する必要があります。

録画 / 記録したファイルの再生について

本機で録画 / 記録したファイルの再生は、パソコン用の専用ビューアソフト「KENWOOD DRIVE REVIEWER II」を使用する、または接続するカーナビで再生することができます。

- 「KENWOOD DRIVE REVIEWER II」についてはドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530の取扱説明書をご覧ください。
- カーナビの操作については接続するカーナビの取扱説明書をご覧ください。

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カードにデータを録画保存します。
必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

P.20

録画機能について

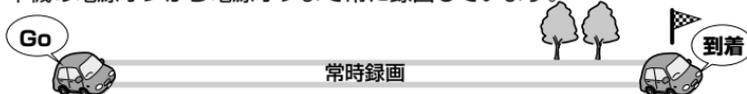
本機は運転している（本機の電源がオンになっている）間の後方映像を録画することができます（常時録画（連続録画）モード）。

さらに、運転中、車両に大きな衝撃が加わった前後の映像また、駐車中では衝撃後の映像を記録することができます（イベント（衝撃）記録モード / 駐車録画モード）。

常時録画（連続録画）モード フロント、リア連動

P.22

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。

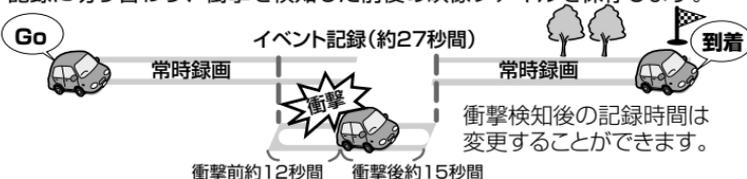


*フロントドライブレコーダーの電源はオンにしてください。電源オフでは録画できません。

イベント（衝撃）記録モード フロント、リア連動

P.22

フロントドライブレコーダーが衝撃を検知すると常時録画からイベント（衝撃）記録に切り替わり、衝撃を検知した前後の映像ファイルを保存します。



*フロントドライブレコーダーの電源はオンにしてください。電源オフでは録画できません。

駐車録画モード フロント、リアそれぞれで動作

P.25

駐車場などに車を停めてイグニッションキーをオフにするると駐車録画モードに入り、車両の衝撃をフロントまたはリアドライブレコーダーが検知すると、検知したドライブレコーダーが録画を開始*します。

駐車録画機能 待機中

駐車録画開始



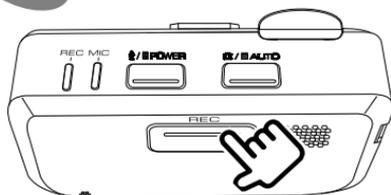
*駐車録画開始時間設定（降車時）/ 駐車録画停止時間設定（乗車時）の間に衝撃があった場合は録画できません。

■ その他の録画機能

手動録画モード フロント、リア連動

P.23

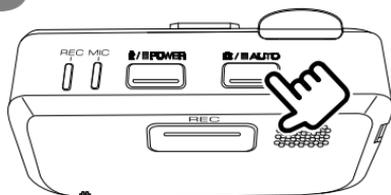
本機の REC ボタンを押すと、映像を手動で録画することができます。



静止画記録 フロント、リア連動

P.23

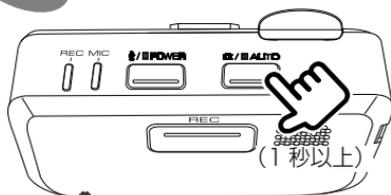
本機の AUTO ボタンを押すと、撮影中の映像を静止画として記録することができます。



自動静止画撮影 フロント、リア連動

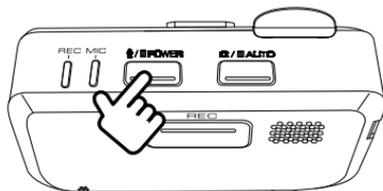
P.24

本機の AUTO ボタンを 1 秒以上押し続けると、設定した枚数の静止画を一定の間隔で自動的に撮影することができます。



録画時のマイクの音声を設定する フロント、リア連動

本機の POWER ボタンを押すと、録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定できます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。押すたびに「ON」/「OFF」が切り替わります。「ON」に設定されると MIC LED (緑) が点灯します。



安全上のご注意 (必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

 注意 (しなければならない)の内容です。

 禁止 (してはいけない)の内容です。

 実行 (かならず行っていただく)の内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- ・ 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・ 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

取り付けや配線について

警告

 本機はDC12V⊖アース車以外で使用しない
火災や故障の原因になります。DC12V⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない
交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなど小物部品やSDカードは乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠ 警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

使用方法について

⚠ 警告



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ



警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.27)を参照して解決方法がないかお調べください。解決しないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはお近くの当社サービス窓口へ相談してください。

使用上のご注意

取り付け上のご注意

- 本機を取り付ける場合は、直接リアガラスに取り付けてください。
- リアガラスに熱線がある場合は、熱線を避けて取付ブラケットの接着面を上から貼り付けてください。
- リアワイパー装備車はふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- 本機を運転支援システム搭載車に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援システムの妨げにならない場所を選んで取り付けてください。
- 誤った取り付けをした場合は、イベント記録や駐車録画が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付けかた」を参照して本機を正しく取り付けてください。(→ P.13)
- 本機を地上デジタルアンテナまたはテレビアンテナの近くや、電装品の近くに設置しないでください。テレビの受信感度の低下やちらつきノイズの原因になる可能性があります。
- 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取り取付ブラケットを固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり本機が落下する恐れがあります。
- 本機を取り付け後、取付ブラケットの接着力を強くするため、取付後24時間以上放置してから使用してください。取付ブラケットの接着力が弱くなりはがれ落ちる可能性があります。
- コード類は、運転操作の妨げにならないようテープ等でまとめてください。

使用上のご注意

- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- LED信号機を撮影した場合、信号機がちらついたり点滅しているような映像が録画される場合があります。また信号機の識別や録画に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 自動車のリアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本製品はあらゆる状況においての映像の録画を保証するものではありません。

本機のお手入れ

- 汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

本機で使用する SD カードについて

本機で利用できる SD カードは以下になります。

規格	microSDHC
容量	8GB~32GB
スピードクラス	Class10推奨
ファイルシステム	FAT32

本機には、microSDHC カード (8GB) を 1 枚同梱しています。



SD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。

同梱の microSDHC カードは製品寿命が近づくと SD カード寿命告知機能により、「SD カードの交換推奨時期です」と音声で通知されます。

通知があった場合は早めに SD カードを交換してください。

- SDカードは消耗部品となります。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。

■ フロントドライブレコーダーと同容量の SD カードを使用する

本機で使用する SD カードの容量は、フロントドライブレコーダーと同じ容量を使用してください。

SD カードの容量が異なると、保存可能なファイル数も異なるため、同期再生が行えないファイルが多数作成される可能性があります。

■ 当社推奨 SD カード

ケンウッド製 microSDHC カード (別売品)

詳細は http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/ をご覧ください。

SD カードの定期的な初期化について

- 本機はSDカードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的な初期化は不要です。ただし、付属のSDカードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。

SD カード使用上のご注意

- SDカードのフォーマット(SDカードの初期化)は必ず本機で行ってください。フォーマットについては接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。
- SDカードを着脱するときは、方向を確認し折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えないでください。
- 端子部分に直接手を触れたり、金属を当てたりしないでください。静電気により、記憶されているデータが破損、消失するおそれがあります。
- SDカードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。動作が不安定な場合は初期化してください。
- SDカード内の必要なファイルは必ずパソコンなどにバックアップ(コピー)をしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機のSDカード初期化や削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SDカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

付属品

①接続コード (7.5m) x1



②電源コード (2.0m) x1
ただし、データケーブルは 1.5m



③取付ブラケット x1



④ケーブルホルダー x1



⑤ネジ (M4x12) x1



⑥六角ナット (M4) x1



⑦ microSDHC カード (8GB) x1



⑧保証書 x1



• 電源コード②のユニット部に貼っているソフトテープは剥がさないでください。

取り付けかた

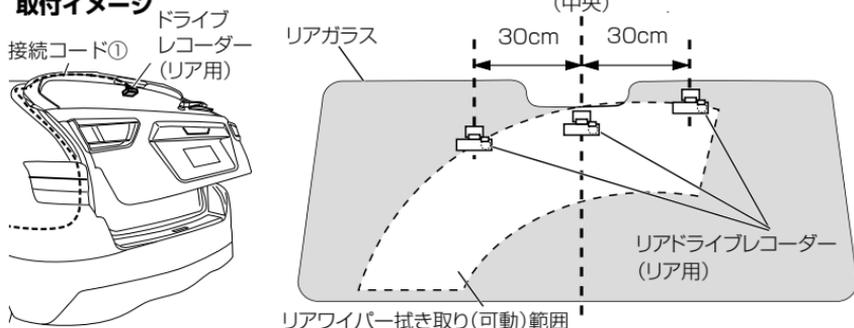
取り付け位置

リアガラスの中央部に後ろ向きで水平にして直接取り付けます。

リアガラスの中央部に部品がある場合、下げた位置または中央部から左右 30cm 幅以内の範囲に取り付けてください。

リアワイパーがある場合は、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

取り付けイメージ

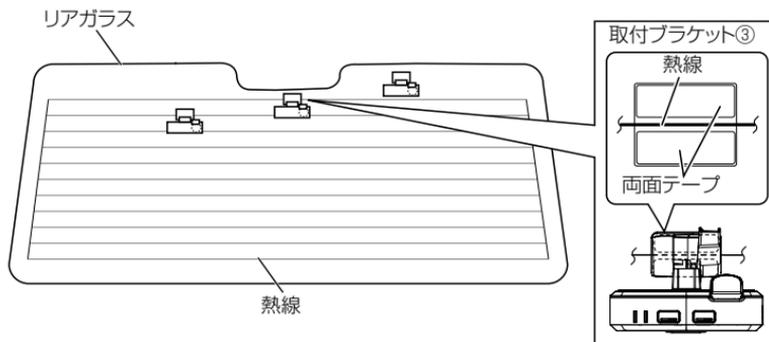


- ・リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性がありますので注意してください。

■ リアガラスに熱線がある場合

熱線に取付ブラケット③の両面テープを貼り付けしないでください。

両面テープを剥がす際、熱線を破損させる恐れがあります。取付ブラケット③に貼られている両面テープは熱線避けるように隙間を設けています。



取り付け手順

車が水平な場所に駐車していることを確認します。

1 本機を取付ブラケット③に取り付ける

本機のブラケット取付部に取付ブラケット③を差し込み、ネジ⑤と六角ナット⑥を取り付けます。

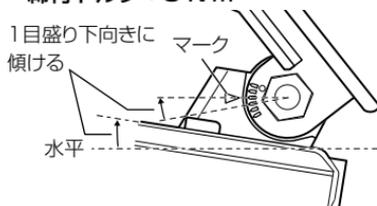


- リアガラスに貼り付けた後で角度調整をして固定します。ドライバーを差し込む側にネジ⑤がくるように取り付けてください。

2 本機の取り付け角度を調整する

本機を水平に近い角度から1目盛り下向きに傾けた位置にして、ネジ⑤と六角ナット⑥で固定します。

締付トルク：8 N・m



配線後に実際の画像を見ながら調整してください。



- 本機のマークと取付ブラケット③の位置合わせマークを向かい合わせにして固定してください。
- 位置合わせマーク1目盛りが10度刻みとなっています。

3 本機の取り付け位置を決める

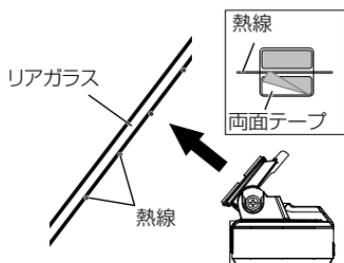
取り付け位置(→ P.13)を参考にして取り付け位置を決めてください。



- 取付ブラケット③の両面テープが熱線に重ならないことを確認してください。

4 取り付ける面をきれいにしてリアガラスに貼り付ける

市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。取付ブラケット③の両面テープのはくり紙をはがし、リアガラスに押しつけて取付ブラケット③を貼り付けます。取付ブラケット③の取付強度を強くするため取り付け後、24時間以上放置してから使用してください。



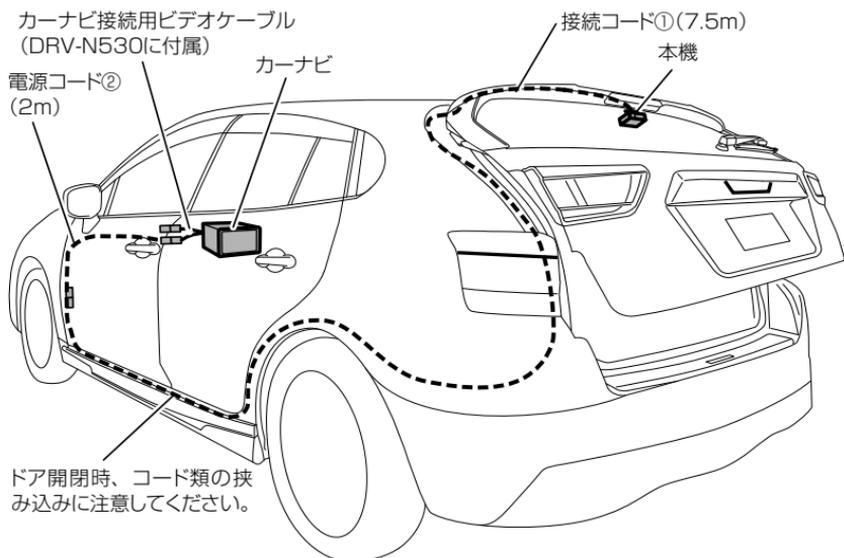
- 24時間以上放置するため、本機に荷重がかからないよう接続コード①は取り付け後に接続してください。

接続のしかた

⚠ 注意 接続作業を行うときは、始めにイグニッションキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

リアガラスに取り付けたドライブレコーダーから引き出された接続コード①は運転操作の妨げにならないようにカーナビに接続します。
配線については接続するカーナビの取付説明書をご覧ください。

■ コードの引き回し例

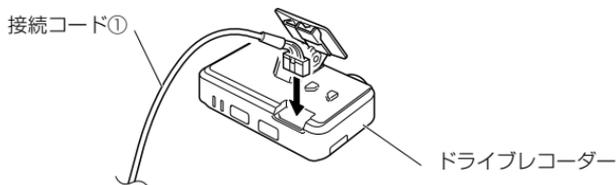


注意

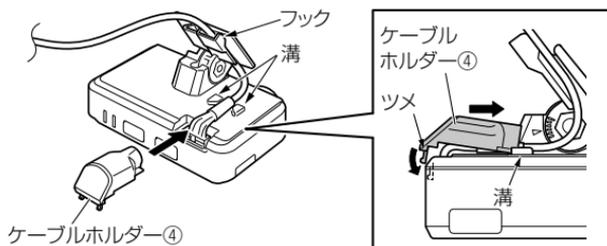
コード類を引き回す際、下記の点に注意して配線してください。

- ・ ドア開閉時にコード類の挟み込みがないように注意してください。
- ・ 接続コードの配線は発熱部を避けて配線してください。
- ・ コード類は、エアバッグなど重要保安部品と干渉しないように配線してください。
- ・ コード類は、運転操作の妨げにならないようソフトテープ等でまとめてください。

1 接続コード①をドライブレコーダーに接続する



2 ケーブルホルダー④をドライブレコーダーの溝に挿入し、ケーブルホルダー④のツメをドライブレコーダーのコネクター部に差し込んで取り付ける



3 配線する

本機とカーナビの配線については接続するカーナビの取付説明書をご覧ください。



- カーナビの取扱説明書、取付説明書は下記ウェブページでも閲覧できます。カーナビのモデル名で検索してください。

<http://manual2.jvckenwood.com/index.html>

4 リアドライブレコーダーの映像を表示する

カーナビを操作してリアドライブレコーダーの映像を表示します。

操作方法はカーナビの取扱説明書をご覧ください。

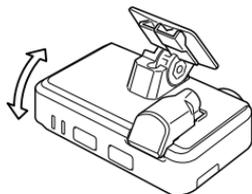
5 本機の取り付け角度を再調整する

車が水平な場所に駐車していることを確認します。

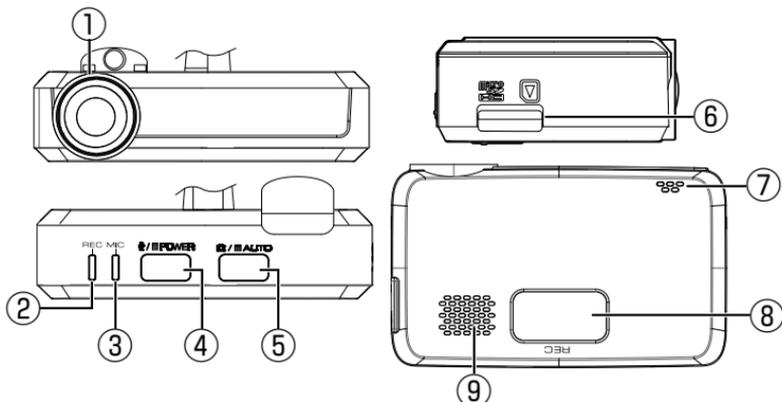
実際の画像を見ながら角度を調整し、ドライバーでネジ⑤を回して固定します。

(→ P.14)

締付トルク：8 N・m



各部の名称とはたらき



① カメラレンズ

② REC LED

録画中に点灯（青）します。

③ MIC LED

音声記録「ON」設定時に点灯（緑）します。

④ POWER ボタン

- 押すたびに音声記録をする / しないを設定します。*
- 本機がオフ中に1秒以上押し続けるると電源をオンします。
本機がオン中に1秒以上押し続けるると電源をオフします。

⑤ AUTO ボタン*

- 静止画を撮影記録します。
- 押し続けると自動静止画撮影機能が「ON」になります。
- 自動静止画撮影機能「ON」のときに押し続けると自動静止画撮影機能が「OFF」になります。

⑥ microSDHC カード
(以降、SD カード) 挿入口

ドライブレコーダー（フロント用）と同じ容量のものをご使用ください。

⑦ マイク

録画中の音声を収録します。マイクは本体に内蔵されています。

⑧ REC ボタン*

押すと手動で録画します。

⑨ スピーカー

音声ガイドや報知音を出力します。

* 連動について

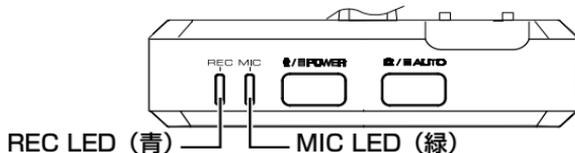
本機の④ POWER ボタン（音声記録のみ）、⑤ AUTO ボタン、⑧ REC ボタンは、操作すると別売のドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530 も同じ機能が働きます。

お知らせ

- ② REC LED、③ MIC LED は点灯状態を設定できます。LED 設定については接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。
- 録画したファイルをカーナビで再生したときの音声は本機のスピーカーから出力されます。カーナビのスピーカーからは出力されません。
- 本機はチャイルドロック機能を搭載しています。カーナビの画面でオン / オフを設定します。
チャイルドロック機能がオンのときは、本機の④ POWER ボタンで電源のオン / オフのみ操作できます。

報知音 / LED 表示による通知

LED と音声、報知音で本機の状態をお知らせします。



■ 報知音通知 / LED 表示

条件	報知音	LED	
		REC (青)	MIC (緑)
常時録画開始	ピコン (↑)	点灯 * ¹	—
常時録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
手動録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
イベント (衝撃) 記録開始	ピロリン (↑)	点灯	—
静止画記録	カシャ	—	—
静止画自動記録開始	ピピコン (↑)	—	—
静止画自動記録停止	ピピコン (↓)	—	—
駐車録画開始	ピロリン (↑)	点灯	—
駐車録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
ファイル数制限で記録できず	ダダンダダン	—	—
音声記録 ON	プッ	—	点灯 * ¹ * ²
音声記録 OFF	プッ	—	消灯

*¹ LED 設定を「OFF」または「AUTO」でイルミがオンのとき、LED は消灯します。設定については接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。

*² 手動録画、イベント記録、駐車録画中は LED 設定に関係なく点灯します。

■ 音声通知

音声ガイダンス	状態
SD カードがありません	SD カードが入っていない。
SD カードの初期化が必要です	SD カードが不正またはフォーマットしていない。
SD カードエラーです	SD カードが異常または認識できない SD カードを挿入している。
SD カードの交換推奨時期です	SD カードの寿命が近づいています。早めに交換をしてください。
録画を中止しました	異常検出により録画を停止した。
駐車記録があります	駐車録画モード中に録画が実施された。

電源をオン/オフする

電源をオンにする

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

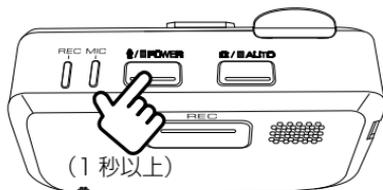
電源をオフにする

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。駐車録画が「ON」のときは、駐車録画モードになります。

本機の電源のみオフにする

車両のエンジンをかけたまま、本機の電源のみをオフにすることができます。また手動で電源をオフにすると、次に車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にするまで、駐車録画機能はオフになります。

- 1 車両のイグニッションキーが「ACC」または「ON」のときに「POWER」ボタンを1秒以上押し続ける



■ 手動で電源をオンにするには

- 1 「POWER」ボタンを1秒以上押し続ける

電源がオンになると常時録画を開始します。

本機のバックアップ電源について

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

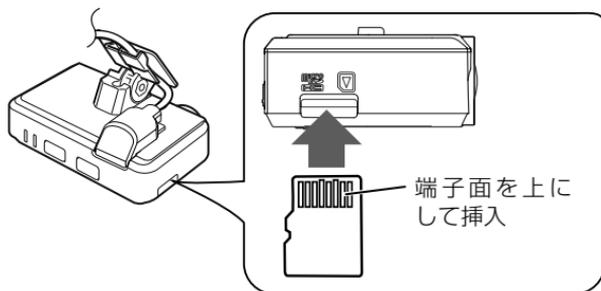
SDカードを取り出す / 入れる

お知らせ

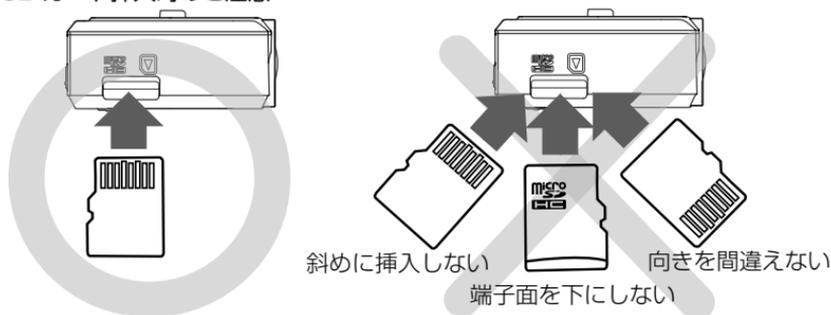
- SDカードを取り出すときは、本機の電源がオフ（REC LED が消灯）になっていることを確認してください。
- SDカードへアクセス中（REC LED が点灯）はSDカードを取り出さないでください。
- SDカードには本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- SDカードを挿入しないと、本機は動作しません。SDカードの入れ忘れにご注意ください。
- SDカードはドライブレコーダー（フロント用）と同じ容量のものをご使用ください。

1 車両のイグニッションキーを「OFF」にして本機の電源をオフにする

2 付属のSDカードの端子面を上にして挿入する



SDカード挿入時のご注意



■ SDカードを取り出すには

1 車両のイグニッションキーを「OFF」にして本機の電源をオフにする

2 SDカードを押して、SDカードが少し飛び出たら引き抜く

録画する

本機は、電源オン時に常時録画モード、イベント（衝撃）記録モード、手動録画モード、静止画記録、自動静止画撮影の5つのモードがあります。電源オフ時には駐車録画モードがあります。

お知らせ

- 次の状態のときは録画モードは動作しません。
 - 録画したファイルを再生しているとき
 - SDカードが挿入されていないとき
 - 手動録画ファイル、イベント記録ファイル、駐車録画ファイルの上書き保存設定が「OFF」に設定されていて、保存できるファイル数が最大になったとき
 - 録画ファイルリスト画面を表示したとき
 - ドライブレコーダー設定画面を表示したとき
 - フロントドライブレコーダーの電源をオフにしているとき
- 手動録画、静止画記録、自動静止画撮影は、本機に接続しているカーナビのドライブレコーダー映像画面からも操作できます。

画質の種類

■ 画質の種類（録画画質）

「1280x720」 / 「1280x720(HDR)」 / 「1920x1080」 /

「1920x1080(HDR)」 (お買い上げ時の設定) / 「2304x1296」

- 設定については接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。

録画時間 / 録画ファイル数の目安

録画時間

録画画質	SDカード容量		
	8GB	16GB	32GB
2304 x 1296	約50分	約100分	約200分
1920 x 1080 / 1920 x 1080(HDR)	約70分	約140分	約280分
1280 x 720 / 1280 x 720(HDR)	約100分	約200分	約400分

録画ファイル数

録画モード	SDカード容量		
	8GB	16GB	32GB
イベント記録	5ファイル	10ファイル	20ファイル
手動録画	10ファイル	20ファイル	40ファイル
駐車録画	20ファイル	40ファイル	80ファイル
静止画記録	100ファイル	200ファイル	400ファイル

お知らせ

- 上記の録画時間は、常時録画、手動録画、イベント記録、駐車録画の合計（最大）です。
- 録画時間は目安です。録画するシーンによって短くなる場合があります。
- 録画モードごとの記憶容量を変更することはできません。

録画ファイルの上書き保存について

- イベント記録、手動録画、駐車録画は「手動録画ファイルの上書き保存」、「イベント記録ファイルの上書き保存」、「駐車録画ファイルの上書き保存」を「ON」に設定すると古いファイルを上書きして録画します。必要なファイルはパソコン等にバックアップしてください。
お買い上げ時の設定はイベント記録と手動録画は「OFF」に設定されています。駐車録画は「ON」に設定されています。
- 常時録画、静止画記録に上書き保存の ON/OFF 設定はありません。録画領域がなくなると上書きして録画します。

電源オン時の録画と記録

本機の電源がオンになると常時録画（連続録画）を開始します。

お知らせ

- 各録画モードの設定を変更したいときは接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。
- 各録画モードの設定は「ドライブレコーダー設定」でフロント用とリア用が共通の設定になります。

常時録画（連続録画）モード

本機の電源がオンになると、常時録画（連続録画）を開始します。

- 常時録画の最大録画時間は、「録画画質」の設定によります。
お買い上げ時は「1920 x 1080 (HDR)」に設定されています。
- 常時録画は設定時間ごとにファイルを分割して保存します。1 ファイル毎の録画時間は 1 分間 / 2 分間 / 3 分間（お買い上げ時の設定）から選択できます。

録画ファイルの保存場所

SD カード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。（→ P.26）

イベント（衝撃）記録モード

常時録画中に突発的な衝撃などをフロントドライブレコーダーが検知すると、常時録画を中断してイベント（衝撃）記録を開始します。イベント（衝撃）記録が終了すると常時録画に戻ります。

- イベント（衝撃）記録モードの録画時間は、衝撃検知前の 12 秒間と衝撃検知後の 15 秒間（お買い上げ時の設定）/ 30 秒間 / 1 分間から選択できます。



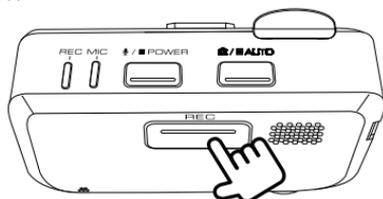
- イベント（衝撃）記録が終了する前にさらに衝撃を検知すると、そこからイベント（衝撃）記録が設定されている記録時間分延長されます。

録画ファイルの保存場所

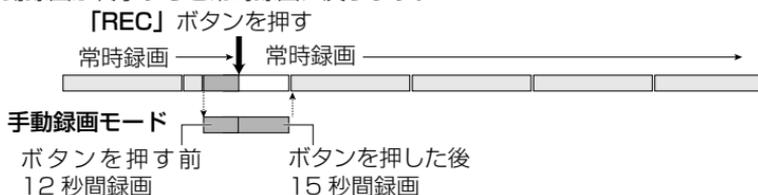
SD カード内の「EVENT」フォルダに保存されます。（→ P.26）

手動録画モード

常時録画中に本機の「REC」ボタンを押すと、常時録画を中断して手動録画モードを開始します。



- 手動録画モードの録画時間は、「REC」ボタンを押す前の12秒間と、押した後の設定された時間（15秒間（お買い上げ時の設定）/30秒間/1分間）です。
- 手動録画が終了すると常時録画に戻ります。



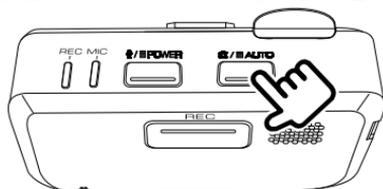
- 手動録画が終了する前にもう一度「REC」ボタンを押すと、そこから設定されている録画時間分延長されます。

■ 録画ファイルの保存場所

SDカード内の「MANUAL」フォルダに保存されます。（→ P.26）

静止画記録

常時録画中に本機の「AUTO」ボタンを押すと静止画が記録されます。



- 静止画の解像度は、「録画画質」の設定と同じ解像度で保存されます。

お知らせ

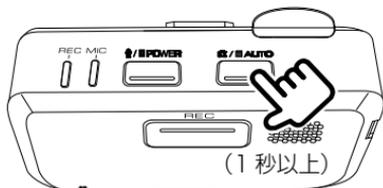
- ・録画中に静止画を記録しても録画は中断されません。

■ 静止画ファイルの保存場所

SDカード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。（→ P.26）

自動静止画撮影

設定した枚数を一定の間隔で自動的に静止画を撮影します。
本機の「AUTO」ボタンを1秒以上押し続けると、自動静止画撮影機能がオンになります。



本機の「AUTO」ボタンを1秒以上押し続けるか、設定されている枚数が撮影されると自動静止画撮影機能はオフになります。

- 撮影する枚数は、10 ファイル / 30 ファイル（お買い上げ時の設定） / 50 ファイルから選択できます。
撮影する間隔は、1分 / 5分（お買い上げ時の設定） / 15分 / 30分から選択できます。
- 自動静止画の解像度は、「録画画質」の設定と同じ解像度で保存されます。

お知らせ

- ・自動静止画撮影機能がオンのときに、本機の電源をオフにすると撮影機能はオフになります。本機の電源をオンにしても途中から撮影は開始されません。

■ 自動静止画ファイルの保存場所

SD カード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。（→ P.26）

電源オフ時の駐車録画モード

本機の電源がオフになると駐車録画モードを開始します。

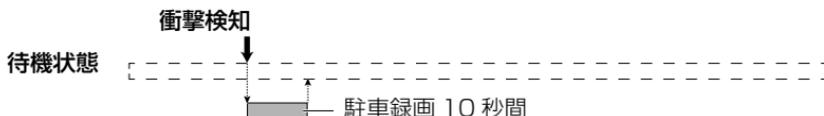
お知らせ

- 車両のイグニッションキーをオフにする前に、本機の電源ボタンで本機の電源をオフにしたとき (→ P.19) は、駐車録画は動作しません。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には駐車録画は動作しないことがあります。
- 設定については接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。

駐車録画モード

駐車録画モードは駐車中に車両に衝撃を受けると、本機の電源がオンになり録画が開始されます。録画が終了すると本機の電源がオフになり、待機状態に戻ります。駐車録画は、衝撃を検出したフロントまたはリアのドライブレコーダーが動作します。フロントとリアのドライブレコーダーは連動しません。

- お買い上げ時は、駐車録画モードが「ON」になっています。
- 駐車録画の録画時間は 10 秒間 (お買い上げ時の設定) / 20 秒間 / 30 秒間から選択することができます。駐車録画は衝撃を検知してから数秒後に録画が始まります。
- 衝撃を検知する感度を設定することができます。



お知らせ

- 「駐車録画発生のお知らせ」を「ON」に設定しているときは、駐車録画モードで録画されると、電源をオンにしたときに音声ガイダンスとモニター表示で録画を行ったことのお知らせします。
- ドアを閉めたときの振動を検出して、駐車録画モードが動作することがあります。

■ 乗車 / 降車時の駐車録画を無効にする

駐車録画モードは乗車 / 降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、駐車録画モードが動作することがあります。乗車時 / 降車時のドアの振動を検知して、駐車録画モードを行わないようにするため、駐車録画モードを一定時間無効にすることができます。

- 駐車録画開始時間設定 (降車時) / 駐車録画停止時間設定 (乗車時) は、OFF / 30 秒間 (お買い上げ時の設定) / 1 分間 / 3 分間から選択できます。

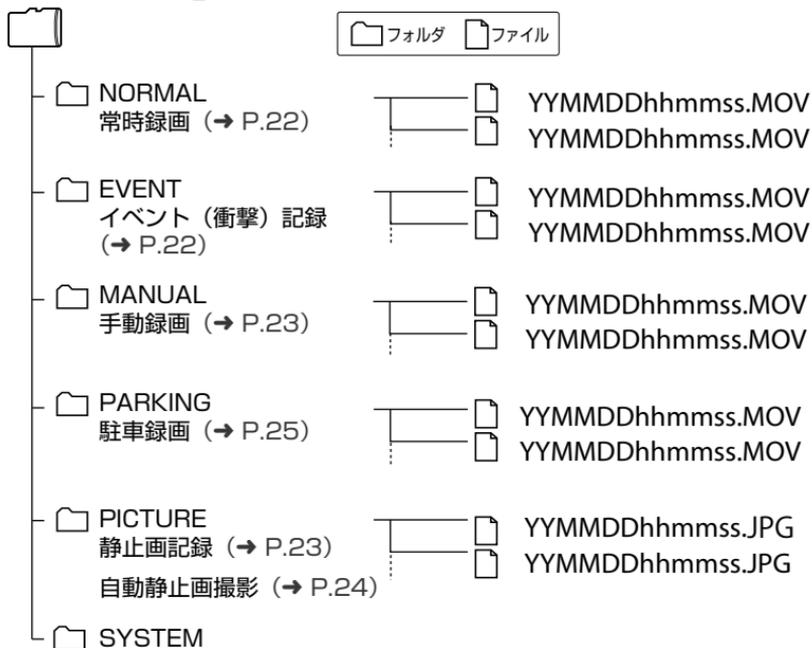
■ 駐車録画ファイルの保存場所

SD カード内の「PARKING」フォルダに保存されます。(→ P.26)

フォルダ / ファイル構成

SD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

SDカード (REAR_REC)



お知らせ

- SYSTEM フォルダはファイルの位置情報などが含まれています。SYSTEM フォルダだけ削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。

■ ファイル名の表記について

ファイル名は録画または記録した年月日と時間で自動的に付けられます。

YYMMDDhhmmss.MOV

YYMMDDhhmmss.JPG

年 月 日 時 分 秒

故障かなと思ったら

■ 本体

症状	原因 / 対処
車両の ACC をオンにしても本機が起動しない。	本機に電源が供給されていない可能性があります。お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
録画や再生がカーナビでうまくできない。	SD カードのフォーマットを行ってください。SD カードのフォーマットについては接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。それでも正常に記録できないときは、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
録画または記録したはずの映像がない。	本機は設定された録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして録画または記録します。必要に応じて、SD カードのデータをパソコンのハードディスクなどに保存してください。 手動録画、イベント記録、駐車録画は上書き保存しないように設定できません。設定を「OFF」することで上限を超えると報知音が鳴り、それ以上の録画または記録はされません。設定については接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。
走行中、頻繁にイベント（衝撃）記録モードの録画が実施されてしまう。	イベント記録の動作感度を調整することができます。調整については接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。
本体が熱くなることがあるが異常ではありませんか。	使用温度範囲内でも本体が熱くなることがあります。本体の動作により発熱しているだけで、異常ではありません。
信号機の色が記録されないことがある。	映像の記録周期と LED 信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、当社は一切責任を負いません。
エンジンを切っても本機の電源が切れない。	エンジンを切り、イグニッションキーがオフになっても本機の電源がオフにならない場合は、駐車録画モードが動作しています。駐車録画設定を「OFF」に設定しても電源がオフにならない場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
本体が起動しません。	お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

症状	原因 / 対処
SD カードに映像が記録できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が対応していない SD カードを使用している可能性があります。「本機で使用する SD カードについて」を参照して、本機で使用可能な SD カードを必ず使用してください。(→ P.11) • SD カードに異常がある可能性があります。SD カードのフォーマットを行ってください。SD カードのフォーマット (SD カードの初期化) については接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。 ただし、フォーマットをすると SD カードのデータはすべて消去されます。必要なデータはパソコンなどにバックアップしてください。 • 本機が高温になると保護機能が働き、録画が停止することがあります。その場合は車内の温度を下げてください。保護機能が解除され、録画ができるようになります。 • ドライブレコーダー (フロント用) の SD カードで SD カードエラー等により録画 / 記録に異常が発生し停止すると、本機も停止します。
常時録画の録画時間が短い。	常時録画モード以外の映像が SD カードに多く記録されていると、常時録画の時間は短くなります。また、SD カードにドライブレコーダーとは関係のないファイルが入っていても、録画領域が少なくなるため録画時間が短くなります。
音声ガイダンスや報知音をオフにしたい。	ドライブレコーダー設定の「操作音の音量」を「0」に設定することでオフにできます。設定については接続しているカーナビの取扱説明書をご覧ください。
「SD カードの交換推奨時期です」と音声通知があった。	SD カードの寿命が近くなると音声でお知らせします。使用できなくなる前に SD カードの交換をお勧めします。

主な仕様

■ 本体

動作温度範囲	- 10 ~ + 60℃
本体サイズ (W × H × D)	約 79 × 約 22 × 約 48 mm (突起物含まず) (ブラケット取り付け時高さ: 約 51mm)
本体質量 (重さ)	約 75g (ケーブル含まず、microSD カード含む)
電源電圧 (動作電圧範囲)	14.4V (8.5 ~ 16V)
消費電流	200mA
G センサー (衝撃検出感度)	内蔵 (- 4.0G ~ 4.0G、0.1G 単位)
GPS アンテナ	非搭載 (カーナビの GPS 情報を共有)
記録メディア	microSDHC カード 8GB ~ 32GB 対応 Class10 推奨

■ 映像仕様

撮影素子	1/3 型、カラー CMOS	
有効画素数	2304 × 1296 (約 298 万画素)	
最大記録画角	水平: 約 117°、垂直: 約 63°、対角: 約 128°	
レンズ	広角、F 値: 2.0	
記録解像度	2304 × 1296 (1296P) 1920 × 1080 (1080P) 1280 × 720 (720P)	
フレームレート	27fps	
録画フォーマット (動画)	記録方式	MOV
	映像	H.264/MPEG-4 AVC
	音声	Linear PCM
録画フォーマット (静止画)	記録方式	JPEG 準拠
音声記録	ON/OFF 可	
HDR	ON/OFF (1296P は非対応)	

これらの仕様およびデザインは、お客様に予告なく変更になる場合があります。

ソフトウェアについて

MD5 utility

/* crypto/md5/md5.h */
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young
(eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

CRC utility

COPYRIGHT (C) 1986 Gary S. Brown. You may use this program, or code or tables extracted from it, as desired without restriction.

First, the polynomial itself and its table of feedback terms. The polynomial is $X^{32} + X^{26} + X^{23} + X^{22} + X^{16} + X^{12} + X^{11} + X^{10} + X^8 + X^7 + X^5 + X^4 + X^2 + X^1 + X^0$

Note that we take it "backwards" and put the highest-order term in the lowest-order bit. The X^{32} term is "implied"; the LSB is the X^{31} term, etc. The X^0 term (usually shown as "+1") results in the MSB being 1

Note that the usual hardware shift register implementation, which is what we're using (we're merely optimizing it by doing eight-bit chunks at a time) shifts bits into the lowest-order term. In our implementation, that means shifting towards the right. Why do we do it this way? Because the calculated CRC must be transmitted in order from highest-order term to lowest-order term. UARTs transmit characters in order from LSB to MSB. By storing the CRC this way we hand it to the UART in the order low-byte to high-byte; the UART sends each low-bit to high-bit; and the result is transmission bit by bit from highest- to lowest-order term without requiring any bit shuffling on our part. Reception works similarly. The feedback terms table consists of 256, 32-bit entries. Notes

The table can be generated at runtime if desired; code to do so is shown later. It might not be obvious, but the feedback terms simply represent the results of eight shift/xor operations for all combinations of data and CRC register values

The values must be right-shifted by eight bits by the "updcrc" logic; the shift must be unsigned (bring in zeroes). On some hardware you could probably optimize the shift in assembler by using byte-swap instructions polynomial $\text{\$edb88320}$ CRC32 code derived from work by Gary S. Brown.

オープンソースソフトウェアについて

ビューアソフトには、GNU General Public License, version 3 その他のソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは、以下の専用サイトで配布されています。

<http://www.kenwood.com/gpl/>

About Open Source Software included in the viewer software

This viewer software includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License version 3 (GPLv3) and different copyright licensees, disclaimers and notices. The source code of software licensed under GPLv3 and different copyright licenses, disclaimers and notices are distributed at the website below,

<http://www.kenwood.com/gpl/>

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHSからは0570-010-114（ナビダイヤル）
IP電話などからは045-450-8950
（受付時間などは、裏表紙を参照してください。）

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.27)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

- 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

- 車両からの取り外し / 取り付けについて
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちください。
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

- 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度

下記の申込用サイトに登録してください。

<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

今すぐ事前Web登録を!

本制度のご利用にはWeb(ホームページ)からの事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または右のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1か月以内のご登録をお願いします。



交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担

無し

(費用はメーカーが負担します)

買替補償金

4万円

(一律)

JDRC **ドライブレコーダー協議会** 補償金制度担当
お問い合わせ e-mail : info@jdrc.gr.jp

内容

補償金の範囲

- 1 ドライブレコーダーの再購入費用
- 2 SDカード再購入費用
- 3 ドライブレコーダーの撤去費用
- 4 ドライブレコーダーの再設置費用
- 5 交通事故証明書の発行費用
- 6 補償金申請に関する資料及び物品の送料
- 7 その他、上記に関する諸経費

補償金額

一律4万円

ご加入費用

無料 (費用はメーカーが負担します)

補償期間

登録日の翌日より1年間

受取人

本制度に加入しているご本人様となります。
(死亡の場合は、法定相続人となります。)

対象となる交通事故

レッカー搬送を伴う自動車事故
(追突された場合、車両が盗難された場合、
車両が故障された場合は除きます。)

事故時における申請資料

下記資料をご提出ください

- 1 ドライブレコーダー本体
- 2 ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード
- 3 交通事故証明書(写しても可)
- 4 レッカー搬送の証明書類
- 5 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート
- 6 補償金請求書



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜：9:30～18:00
土曜：9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。